

第 37 回「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」 議事録概要

◇日時：2022 年 7 月 26 日（火）16:00-18:00

◇場所：Webex 会議

◇出席者（敬称略）：

（委員長）宮野

（副委員長）関村、岡本

（幹事）浅沼、鈴木、高田(孝)、高田(毅)、柳原、吉見

（欠席：阿部、早瀬、藤田）

（委員）石田、山内、出光、内田、高木、越塚、加治、瀧口、佐々木、奈良林、成宮

安部、川原、江藤、中野、可児（運営タスク）

（欠席：安部田、小西、大隅、渡邊、竹田、山本、矢板）

（オブザーバー）倉田（JAEA）、堤、宇佐美（エネ庁）、中村（NDF）、

奥住、今村、大橋（IRID）、松方（化学工学会）、新堀（学会副会長）、

駒野、堀池（学会元会長）、田中（学会元副会長）、富田（学会事務局）

◇議事

0. 委員長挨拶

宮野委員長より開会のあいさつがあった。

1. 前回第 36 回廃炉検討委員会議事録および議事概要の確認

前回第 36 回廃炉検討委員会議事録案および議事概要案を確認した。

2. 廃炉委の運営

(1)委員リスト

(i) 廃炉委

廃炉委 委員リストを確認した。運営タスクチームのメンバー変更および日本原子力学会会長・担当理事の変更について説明があった。

(ii)分科会

分科会委員リストについて確認した。建屋の構造性能評価分科会の委員リスト(暫定版)、強度基準検討分科会の委員の更新および所属の修正について報告があり、承認された。

(2)2021 年度 活動報告書案

廃炉委の 2021 年度の活動報告書の作成状況について報告があった。

(3)廃炉関係施設視察の検討状況

廃炉関係施設視察に関する検討状況の説明があった。今年度はまずは FDR2022 で計画している視察への参加を検討いただき、その後状況を見て廃炉委としての企画の実施を検討するとの説明があった。

(4)廃炉貢献賞募集

今年度の廃炉貢献賞募集について説明があった。募集期間は 9 月上旬～10 月 31 日まで、対象者・受賞対象の要件は例年と同様であることが説明された。また、21 年度受賞者の感想が紹介された。

3. シンポジウム等報告・計画

(1) 廃炉委シンポジウム(6/25)報告

6/25 に開催された廃炉委シンポジウムの概要報告があった。アンケート等で多くの意見・提案をいただいたことが紹介された。

また、パネルディスカッションの講演者である倉田氏(JAEA)、奥住氏(IRID)より講演内容の概要の紹介があった。

(i) 炉心崩壊のシナリオとデブリの状況について：JAEA 倉田氏

燃料溶融・破損現象の最近の検討内容(事故時事象の進展、デブリ崩落メカニズムの議論、号機ごとの事故進展シナリオなど)の紹介。

(ii) 1F の調査結果と論点：IRID 奥住氏

これまで開発されたロボット、現在実施中の調査、今後の RPV 内部調査に向けた開発状況の紹介。

(2) 秋の大会企画セッション計画

秋の大会における企画セッションの計画について説明があった。9/9(金) 13:00～14:30 開催で、東電・NDF・JAEA より講演を予定、発表資料は現地会場で配布および廃炉委 HP に掲載することが説明された。

(3) FDR2022 準備について

FDR2022 の準備状況について説明があった。日程は 10/14(金)～10/16(日)、レジストレーションのサイトを 8 月中旬に開設する予定であることが紹介された。

(4) 今後の廃炉委シンポジウム・WS の展開

今後の WS のテーマ案について紹介があった。シンポジウムでの講演内容を含めて計画していく予定であることが説明された。

4. 分科会の活動状況

(1) ロボット分科会 検討状況と課題・展望

ロボット分科会での検討状況、今後の進め方について説明があった。ロボット分科会は原子力学会とロボット学会で設置した分科会であり、仕組みづくり・場の提供を中心に実施してきたこと、今後も積極的な情報提供と成果の活用、シーズ技術提案の場の提供などを進めていきたいことが紹介された。

(2) 分科会活動状況

強度基準検討分科会より活動状況について説明があった。

5. 関係機関から話題提供

・NDF 技術戦略ワークショップ(2022)紹介

9/10(土)にひたちなか市文化会館で開催予定の NDF 技術戦略ワークショップについて紹介があった。

6. その他

・ 次回の日程は、9/21(水)10 時からを候補とする。

以上